

オーストラリア研修 4日目（3月10日）

朝、登校中にダブルレインボーを見た。今日もいいことがある予感がする。

当初は、ドリゴ国立公園に行く予定だったが、行く途中の道が土砂崩れのため通行止めになったので、予定を変更して Woolgoolga Creek Rainforest へ行ってきた。ここでは2人のガイドの方が解説をしてくださった。

最初にアボリジニの挨拶を教えてくださいました。そして、森に入っただけのところには、アボリジニが食べていたジンジャーの実があった。学校などに植えてあるジンジャーとは違う種だった。1年生の生物基礎で、森林の階層構造について学んだが、熱帯多雨林は日本の森林よりも何層にもなっていて「高木層」よりもさらに高い「超高木層」もあり、植物が効率良く光を利用していることがよく分かった。また、超高木層の樹が高すぎて、林床から林冠まで全部写真に納まらなかった。植物の種も日本と異なり、ヤシやユーカリがよく目についた。落ちたヤシの葉の根元で赤ちゃんを包んでゆりかごにしたり、水を汲んだり、細く裂いて紐にしたりしていたことを知った。鳥の姿を見ることはできなかったが、今まで聞いたことがない囀りをいくつか



も聞いた。ガイドの方に教えていただき鳥の囀りを真似してみたが、近づいては来なかった。途中の小川には小さな魚がいたり、イトトンボのようなトンボがいたり、トカゲがいたりした。遊歩道の一番奥には滝があった。



途中で急に雨が降り、本当の「Rainforest」を体験できた。雨が止むと、様々な鳥たちが一斉に囀りだして、みんなで何種類聞こえるか耳を澄ませた。聴き慣れていらっしゃるガイドさんは7種類も聴けるとおっしゃった。大きなカタツムリの抜け殻もあった。熱帯多雨林は何もかもスケールが大きいと実感した。



昼食を食べている芝生広場の横の藪にイグアナが数匹いた。とても貫禄があり、皆で夢中で写真を撮った。



食後、迎いのバスが来るまでみんなで鬼ごっこをした。益々バディとの距離が近くなって嬉しかった。

